



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2018年7月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



「西日本豪雨災害」で被災された方々に
心よりお見舞い申し上げます。

全国的に、まだまだ酷暑も続きます。

皆様、体調管理に十分ご留意願います。

写真は、岩手県山田町「しいたけの森」での草刈り活動です。

(目次)

1. 緊急レポート！「西日本豪雨災害」被災園情報
2. JP子どもの森づくり運動「10周年企画」参加園募集
3. 事務局からのお知らせ
どんぐり博士の「育苗日記」(2018年7月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. 緊急レポート！西日本豪雨災害被災園情報

「西日本豪雨災害」では、多くの園が被災されました。事務局では、直後から対象地域の参加園さんに、お見舞いを兼ねて被害状況の問合せを実施しました。結果、参加園の中では園児さんや職員さんの人的被害はなかったとのこと、何よりです。ただ、広島県の参加園である「みみょう保育園」と同じグループの「小屋浦みみょう保育園」（広島県安芸郡坂町）さんの園舎に土砂が流入し、大きな被害に遭われておられます。事務局では、J P 子どもの森づくり運動ネットワークとして、**求められる支援**に取り組みたいと思っており、同園の松尾園長先生に必要な物資、人についてお申し出いただくようお願いしております。

そんな中、7月19日に、子森ネットの理事を務めていただいております福岡県「若久青い鳥保育園」の岡村園長先生が現地を視察され、被害、及び支援に関する以下の状況が判明しました。1. 土砂の撤去には数か月かかること 2. まずは、重機によるおおまかな土砂の撤去からとしかかること 3. その後、人力による作業が必要になること、などです。事務局では、熊本地震同様に、今回の豪雨災害においても、岡村先生の支援と連携した支援に取り組みたいと思っております。その事情で、以下に、フェイスブックに掲載された岡村先生のレポートを、ご本人の了承の上、事前情報としてご紹介します。人力としての支援が必要となると思われますのでその際は是非、ご協力いただけます様お願い申し上げます。なお、災害直後より、多くの参加園さんから支援に関する問合せ、お申し出をいただいております。御礼申し上げます。

* 以下、岡村先生の視察レポート * 写真についても同じ * () 内は事務局

松尾先生の保育園は1F保育室や調理室の半分くらいは土砂に埋まり悲惨な状態でした(😞)

園庭には自衛隊と消防士が入り土砂を取り除く作業中でした。唯一の救いは夜に土砂災害が起きた事、昼間で園児たちが居たらどうなっていたことか(😞) 想像すらしたくありません(😞) 園児や職員さんに被害が無く本当に良かった！

とりえず、土砂の撤去が終わった後に人力が必要になります。その時は皆様方のお力添えが必要になります。

(その際はお知らせしますので、) ご協力よろしく願います。今のところ救援物資は足りてるそうです。

土砂の撤去は数ヶ月間かかりそうだと言う事でした！ 人力が必要な時はまた(ご案内しますので) 願います。

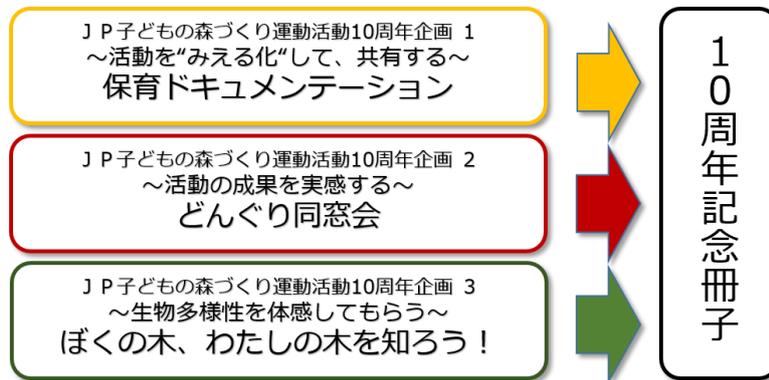


2. J P子どもの森づくり運動「10周年企画」参加園募集

1) 第二次参加園募集開始

J P子どもの森づくり運動が、2018年に活動10周年を迎えました。そこで、節目の機会として、これまで蓄積された膨大な活動の実績を検証し、成果をとりまとめ、活動の次の展開につながる成果物として結実させたいと思っています。わたしたちは、その取り組みを、参加園の皆さんとの協働の中で進められればと思っています。つきましては、そんな“ふり返り”の協働を実現するための方法として、J P子どもの森づくり運動「10周年記念企画」（以下「10周年企画」）を提案したいと思います。「10周年企画」は

1. 活動を“みえる化”して、共有するための『保育ドキュメンテーション』
2. 活動の成果を実感するための『どんぐり同窓会』
3. 子どもたちに生物多様性を体感してもらうための『ぼくの木、わたしの木を知ろう！』の三つの活動から構成されています。



同企画の参加園募集は、2017年度に第一次募集が行われましたが、今年度も第二次募集を実施したいと思います。今年度の募集の詳細については、募集チラシにて今月号から順番にご案内します。今月号では、まずは、樹木のルーツを訪ねる『ぼくの木、わたしの木を知ろう！』の参加園を募集します。子どもたちがいつも親しんでいる森の木のルーツを知ることは、生物多様性学習において、とても重要なことです。J P子どもの森づくり運動では、筑波大学の協力を得て、“どんぐり”の母樹を遺伝子レベルで調査する活動に取り組みます。この機会にお申し込み下さい。締め切りは9月末とさせていただきます。

2) あなたの園の自然・環境体験プログラム募集

J P子どもの森づくり運動では、活動10周年記念事業として飯田女子短期大学 幼児教育学科 田中住幸准教授の監修で**本当に保育の現場で役立つ「自然・環境体験プログラム集」**の作成に取り組んでいます。事務局では、作成するプログラム集を本当に保育の現場で役立つものとするために、J P子どもの森づくり運動の参加園で取り組んでおられるリアルな自然体験プログラムもご紹介できればと思います。つきましては、下記の例を参考に、皆さんの園で、現在保育に取り入れておられる自然・環境プログラムの事例情報をご提供いただけます様お願い申し上げます。

あなたの園の自然・環境体験プログラム応募の際にご提供いただきたい情報項目（例：福井県大野幼稚園）



1. プログラム名 : 山の音、山のおい
2. 開催時期 : 夏
3. 参加人数 : 約40名（園児、卒園児、保護者、職員）
4. 内容 (スケジュール) : あらかじめ下見して撮影した20種類の植物の写真シートを参加者に渡し、同じものを見つけてもらい、採ってきた植物をシートと比べて同じだったらシールを貼ります。
5. その他 :
 - ・写真を数点をご提供下さい。
 - ・プログラムのねらいや子どもたちの感想等もご記入いただくと助かります。

3. 事務局からのお知らせ

1) 「富良野自然塾ツアー」参加者募集のお知らせ

J P子どもの森づくり運動10周年記念事業として、当運動の協力団体であるNPO法人C・C・C 富良野自然塾さんが提供する環境教育プログラムを体験するツアーを開催します。塾長の倉本聡先生の講義も予定しております。詳細は、同封の募集チラシをご参照下さい。募集人数が限られております。早めの応募をおすすめします。

- ・日程：2018年10月9日(火)～10日(水)
- ・会場：北海道富良野市下御料「富良野自然塾」
- ・募集人数：20名(先着順)

* 倉本先生の講義は、先生のご体調によって直前にキャンセルになる場合もあり得ます。あらかじめご了承ください。



地球の道



植樹体験

2) 「子森チャンネル」コンテンツ更新のご案内

YouTubeチャンネル「子森チャンネル」において、「東北復興グリーンウェイブ」の福島県での活動が紹介されております。感動的な番組となっておりますので、是非、ご覧下さい。

* 視聴方法：「子森ネット」ホームページ (<http://www.kodomono-mori.net>)

⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル * 右のQRコードからもご覧いただけます。



● どんぐり博士の育苗日記(2018年7月号)～苗の避難勧告(指示)～

異常な天候が続いています。まずは、西日本豪雨の被災地の皆様にお見舞い申し上げます。現地に飛んでいきたい気持ちですが叶わないので、募金などの遠くからできる支援を継続していきたいと思います。子森ネット「どんぐり博士」：河内和男(森林インストラクター)



この先天気傾向が変わるかもしれませんが、豪雨の後、日本列島はとんでもない酷暑に見舞われ、気象庁が命に関わる災害レベルの暑さと発表しました。それは植物に対しても同様で、特にポットやプランターでの育苗では、水がすぐ干上がってしまいダメージが大きいです。

そこで、どんぐり苗の避難勧告を出します(遅すぎましたが)。避難先は、日陰で気温が上がりにくい風通しの良い場所です。日光が一日中当たらずとも良いです。遮光ネットなどで日陰を作る場合は、風通しを考慮しつつ、できるだけ広い範囲を覆い、日なたの熱気が苗に届かないようにしてください。そして、もちろん水やりを欠かさないでください。

通常の猛暑なら勧告はこれで終わりですが、今年はもう一段の避難を考えなければならない地域があります。西日本などの都市部では、気温が夜になってもなかなか30℃より下がらないことがありますが、これは北国生まれの東北復興グリーンウェイブの苗には耐えられない環境です。エアコンの効いた室内への避難も必要と考えます。このような不自然な指示は出たく有りませんが、今夏の暑さは日本の自然を逸脱した高温ですので仕方有りません。

まだ枯れていないけど、元気のない苗(葉の色が薄い・茶色い、葉の枚数が少ない等)はできるだけ涼しいところに置いて休ませてください。この原稿を書いている時点での週間予報では、乾燥した超高温から、湿った高温へ天気の傾向が変わる予報です。けれど夏バテした苗には厳しい夏に変わり有りません。可能な範囲での苗の見守りと保護をお願いします。